

2021年1月15日

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（スリナム）
クワタ農産物市場鮮魚・精肉売り場改修計画に関する署名式

2021年1月15日、令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力であるクワタ農産物市場鮮魚・精肉売り場改修計画に関する署名式がオンライン形式で行われました。

被供与団体であるクワタ農産物市場財団は、日本政府の供与額115,218米ドルの無償資金を利用して、同市場の鮮魚及び精肉売り場を改修拡張し衛生環境を改善することで、安全な食料へのアクセスに寄与することが期待されます。同財団への無償資金協力は2001年に実施以来の20年ぶりの支援となります。

本式典では、平山達夫スリナム日本国大使及びブランケンダール同財団代表が贈与契約に署名しました。また式典には、パダラート日本名誉総領事、埴暢昭一等書記官、佐藤克哉二等書記官、クワタ農産物市場財団他理事も出席しました。

平山大使は挨拶の中で、この1年でスリナムには新政権が誕生したが、コロナ禍の発生は世界を大きく変え、渡航制限によりこの署名式もオンラインで開催せざるを得なかったが、このプロジェクトに関連する食料安全保障の確保は、コロナ禍下で、むしろさらに重要となっており、このプロジェクトをスリナムの人々のために実現できて喜ばしい。予定通りに本件プロジェクトが完成することを強く願うと述べました。

ジャバンダン理事は、精肉、鮮魚を取り扱う市場で同国唯一の冷蔵設備を備える本案件改修工事には、消費者、出店者等から多くの期待が寄せられており、スリナムの人々に対する日本政府からの支援に対して、心からの感謝の意を表しました。また本案件の実施に際し、同財団が契約の遵守に努め、大使館関係者が改修後すぐに施設を訪問できるようになることを期待していると述べました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でスリナムに対する支援を実施していく考えです。



お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



平山大使によるスピーチの様子



イーワード・ブランケンダール代表の謝辞の様子



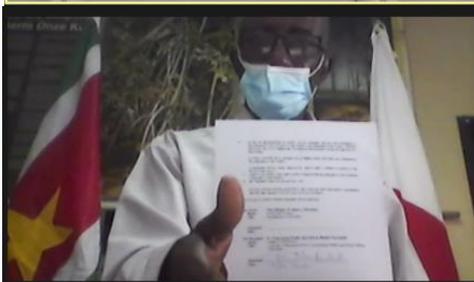
平山大使が贈与契約書に署名する様子



ブランケンダール代表が贈与契約書に署名する様子



式典の様子：日本大使館（左上）、クワタ市場財団（右上）：
ジャバダン理事、ジャヤント・パダラート日本名誉総領事
（下）



署名後に挨拶を交わす様子：日本大使館（上）：平山大使、
クワタ市場財団（下）：ブランケンダール代表



お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp